

シヨウガ・葉シヨウガ*1 (野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	シ ヨ ウ ガ	葉 シ ヨ ウ ガ	作用 機 構 分 類 コ ー ド	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	い も ち 病	根 茎 腐 敗 病	紋 枯 病	白 星 病	褐 色 し み 病	腐 敗 病
I Cボルドー66DFL	☆		M1		-	-				◎		
アグロケア水	☆		BM2		1	-				◎		
インプレッションク リア水	☆	☆	BM2		*e	-				◎		
マスタピース水	☆		NC		1	-						◎
ベンレート水④	☆		1		21	2	◎				◎	
トップジンM水⑤	☆		1		7	2	◎			◎		
アフエットFL	☆		7		1	3				◎		
モンカットFL40	☆		7		3	6			◎			
		☆		4			◎					
モンカット粒		☆	7		*b	1			◎			
				*d	4		◎					
オラクル顆水	☆	☆	21		*d	3		◎				
ランマンFL	☆		21		*c	3		◎				
		☆		*d			◎					
プレビクールN液	☆		28		*c	5		◎				
オンリーワンFL	☆		3		3	3				◎		
トリフミン水	☆		3		1	5				◎	◎	
		☆		7		3		◎				
バリダシン液5	☆		U18		14	4			◎			
オーソサイド水80	☆		M4		*a	1		◎				
				30	2		◎					
				3	2				◎			
ダコニール1000FL	☆		M5		14	5			◎	◎		
ユニフォーム粒	☆		4・11		30	3	◎	◎				
		☆		21		3		◎				
シトラーノFL	☆		M1・M5		14	5			◎	◎		

④:チオファネートメチル含有剤 ⑤:ベンジル含有剤 ⑥を使用した場合には同じ作での④は使用しないこと。その逆も同様(種子への処理及び塗布処理を除く、詳細はp. 856参照)。

*1:シヨウガ(根茎を収穫するもの。根しょうがを含む)と葉シヨウガ(生葉のついたままの若い根茎を収穫するもの。やなかしょうが、はじかみしょうが及び筆しょうがを含む)は、使用できる農薬が異なる。

*a:植付前 *b:植付時 *c:生育期(但し収穫30日前まで)

*d:生育期(但し収穫3日前まで) *e:発病前～発病初期まで

シヨウガ・葉シヨウガ*1(野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	シ ヨ ウ ガ	葉 シ ヨ ウ ガ	作用 機 構 分 類 コ ー ド	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	ア ワ ノ メ イ ガ	ア ズ キ ノ メ イ ガ	ハ ス モ ン ヨ ト ウ	ネ キ リ ム シ 類	ネ コ ブ セ ン チ ュ ウ
エスマルクDF	☆		11A		*b	-	◎				
オルトラン水	☆		1B		45	2	◎				
		☆			21		◎				
ガードホープ液	☆		1B	劇	3	1					◎
ネマトリンエース粒	☆	☆	1B		*a	1					◎
ガードバイトA粒	☆		3A		*c	4				◎	
		☆			*d					◎	
スカウトFL	☆		3A	劇	1	5	◎				
トレボン乳	☆	☆	3A		7	3			◎		
フォース粒	☆		3A	劇	*e	1				◎	
アフーム乳		☆	6		7	2			◎		
コテツFL	☆		13	劇	1	2			◎		
パダンSG溶	☆		14	劇	7	5	◎	◎			
デミリン水	☆		15		1	3	◎				
ノーモルト乳	☆		15		7	2			◎		
マトリックFL	☆		18		1	3			◎		
ロムダンFL	☆		18		1	3			◎		
トルネードエースDF	☆		22A		7	3	◎		◎		
ファイントリムDF	☆		22A		7	3	◎		◎		
アクセルFL	☆		22B		1	3	◎		◎		
アクセルバイト	☆		22B		1	3				◎	
フェニックス顆水	☆		28		1	2	◎		◎		
ブレバゾンFL 5	☆		28		1	3			◎		
グレーシア乳	☆		30		1	2			◎		
プレオFL	☆		UN		1	2			◎		

*1:シヨウガ(根茎を収穫するもの。根しょうがを含む)と葉シヨウガ(生葉のついたままの若い根茎を収穫するもの。やなかしょうが、はじかみしょうが及び筆しょうがを含む)は、使用できる農薬が異なる。

*a:植付前

*b:発生初期(但し収穫前日まで)

*c:定植時～発芽期(但し収穫120日前まで)

*d:生育初期(但し収穫30日前まで)

*e:萌芽期

ショウガ・葉ショウガ*¹ (野菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
根茎腐敗病	植付前	1. 排水を良好にする。 2. 健全塊茎を植えつける。	本病はピシウム菌による。
	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布または処理する。 プレビクールN液剤☆ 400～600倍液 3L/m ² 灌注 ユニフォーム粒剤# 18kg/10 a ランマンフロアブル# 500～1000倍液 ショウガ 2～3L/m ² 灌注 葉ショウガ 3L/m ² 灌注	#ショウガと葉ショウガでは使用時期(日数)等が異なるので注意する。
紋枯病	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 シトラノフロアブル☆ 1000倍 ダコニール1000 (FL) ☆ 1000倍 モンカッタフロアブル40# 2000倍	本病はリゾクトニア菌による。 #ショウガと葉ショウガでは使用回数が異なるので注意する。
白星病	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 シトラノフロアブル☆ 1000倍 ダコニール1000 (FL) ☆ 1000倍 トリフミン水和剤# 1000倍	#ショウガと葉ショウガでは使用日数等が異なるので注意する。
アワノメイガ	生育期	・次の薬剤のいずれかを散布する。 エスマルクDF☆ 2000倍 バダンSG水溶剤☆ 1500倍	
アズキノメイガ	生育期	・次の薬剤を散布する。 バダンSG水溶剤☆ 1500倍	
ハスモンヨトウ	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 トレボン乳剤 1000倍 トルネードエースDF☆ 2000倍 ノーモルト乳剤☆ 2000倍 マトリックフロアブル☆ 1000～2000倍	
ネキリムシ類	定植期～生育初期	・次の薬剤を株元に散布する。 ガードベイトA(粒) # 3kg/10 a	#ショウガと葉ショウガでは、使用時期が異なるので注意する。
ネコブセンチュウ	植付前	・次の薬剤を植え付け前に全面土壌混和する。 ネマトリンエース粒剤 20kg/10 a	

*1:ショウガ(根茎を収穫するもの。根しようがを含む)と葉ショウガ(生葉のついたままの若い根茎を収穫するもの。やなかしょうが、はじかみしょうが及び筆しょうがを含む)は、使用できる農薬が異なる。

無印:ショウガと葉ショウガの両方に登録のある農薬 ☆:ショウガのみに登録のある農薬